

2015年
8月



日本から靴やお菓子が届けられました！（ザンビア孤児院）

皆さんの尊い御支援、いつも本当にありがとうございます。
今現在、日本は久しぶりに株価が2万円の大台に乗るなど、少し好況な状態が続いていました。しかしその多くは、円安の恩恵にあずかることのできる輸出産業の業績によるところが大きく、その他の産業は相変わらずの厳しさのようです。円安は、私ども孤児院にとっても大きな問題になりやすく、海外の各孤児院への運営費も、送金額は変わらなくても、いや、少し増額しても、現地では円安の影響で、結果的には減額になってしまいます。それゆえ、各孤児院とも、運営費の増額を訴えてきます。さらに、子供たちの進学にかかわる費用も必要です。私共のホームページにも掲載しておりますが、運営費の増額を検討しなければならないところです。このような理由で、とにかく皆さんに更なる御支援・御協力をお願いするばかりであります。話が変わりますが、郡山に建設中のファミリーホームですが、本格的な建設がはじまり、完成までそう遠くないようです。しかし、備品を備えたり、認可を受けるなどの必要があります。どうかこれからも皆さんの御支援をよろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

12年生の4人の男の子達に、6月中旬頃念願の自転車を1台ずつ購入する事が出来ました。カンボジアには、日本から中古の自転車がたくさん入って来ていますので、4人の自転車も中古ですが、見た目はとても綺麗で自分達の気に入ったものを選ぶ事が出来たようです。購入後から早速、毎日自転車通学になり、とても喜んでます。皆様のご支援に、心から感謝申し上げます。

小学生～中学2年、高校1、2年生たちは最後の進級試験が終わり、後は結果を待つのみとなっています。9年生（中学3年）と12年生（高校3年）も、いよいよ高校受験と卒業試験が近付き緊張した面持ちですが、ぜひとも全員合格の良い知らせを願いたいと思います。6月の終わり、シンガポールの皆さんが数年振りに訪問して下さい、また日本から子ども達へ日本のお菓子類や衣類を送って頂いたり、継続した皆様からのご支援に心から感謝しています。



自転車で遊ぶ子どもたち！

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

皆様の尊いご支援をいつもありがとうございます。7月は児童書月間でした。私自身が子どもの頃、母は私に書く力、表現する力を付けるために、日記を書かせていたことを思い出し、就学支援プログラムを受けている子どもたちにも再び日記を書いてもらうことにしました。自分の考えや感じたことを自由に表現出来るようになるためです。7月は栄養月間でもありました。子どもたちが学校に通い続けるために、まだ3,672ドルの必要があります。学校の登録料、学費、学用品等のためです。またその他に制服や靴、上履き等のために515ドルが必要です。皆様のご支援は子どもたちの人生を希望あるものへと大きく変えています。どうか引き続きフィリピンの子どものために、皆様のご支援をよろしく願います。



エレノアスタッフとお母さんのコラさん！

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ（お元気ですか）？

ザンビアは凍えるような寒さが続いています。

昨年、雨季になっても雨が降らず、水不足で非常な生活難が続いた事をお伝えしました。

今年はその影響で、ザンビア中の電気を賄っている水力発電のダムの水位が著しくさがり、全国で1日10時間の停電が始まりました。



靴をもらって大喜びの子どもたち！

電気が止まれば、水もインターネットも止まります。停電に備えて、生活リズムを全て変えながら、影響を最小限に抑える工夫をしているところです。

さて、10月の高校最終試験を終えれば卒業するフィデリスとテリースですが、テリースにはザンビアでエンジニアの勉強をする道が開けそうです。フィデリスは法律の学校に進学することを希望しています。どうか引き続きご支援をお願い致します。

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様の尊いご支援とサポートをいつもありがとうございます。乾期の真っ最中のはずの7月に、日本の梅雨を思わせるような連日の雨が続きました。ブラジルでは水力発電が主流とのことで、私たちはとても喜びました。以前から知り合いであったイェフダさんとまた連絡が付き、アラサトゥーバ市役所にお勤めである



孤児院設立に協力してくださっているイェフダさん！

ことが分かりました。この方には前に少しカンボジアなどの児童養護施設の働きを紹介したことがあります。ブラジルでも児童養護施設のビジョンがあること、グアララペスに土地があることなどをお話することができました。社会福祉の働きに関心があるそうで、法人の設立などの必要のため具体的に人々に働きかけることを協力すると言ってくださいました。さらにご支援をよろしくお願いいたします。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>